

OPCTest のコマンドライン ユーティリティの使用

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[opctest 実行して下さい](#)

[opctest コマンド](#)

[デバッグ情報](#)

[終了およびやめられた opctest](#)

[関連情報](#)

概要

Open Peripheral Controller (OPC) Test (opctest) コマンドライン ユーティリティでは、Cisco Intelligent Contact Management (ICM) ペリフェラル ゲートウェイ (PG) OPC プロセスのさまざまなパラメータを表示し、設定することができます。Microsoft Windows OS コマンドプロンプトまたは Telnet セッションから opctest を実行できます。

注: PC でまたは pcANYWHERE を通してコマンドプロンプトを、使用して下さい。コマンドプロンプトの使用はデータ列が頻繁に多くを示すのでよりよいですより Telnet 示すことができる。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

opctest 実行して下さい

opctest 開始するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. `opctest /cust custname /node ICM` ノードネーム コマンドを発行して下さい。注: `custname` は顧客名を示し、`ICM` ノードネームはノードネームです。例は `opctest /cust abc /node pgx` です。
2. `opctest`/発行して下さい。コマンドプロンプトで命じて下さい。このコマンドは `opctest` 実行の情報を示したものです。
3. `opctest` 開始した後、`型ヘルプ`または`か`。すべての利用可能なコマンドのリストを表示するために。もっとも一般的な コマンドは PG の健全性および状態を表示するステータスです。

出力例はここにあります:

```
C:\> opctest /? Version: Release 4.0, Build 04624 Usage: opctest [/f InputFile] [/system SystemName] [/cust Customer] [/node ICRNode] [/pipe OutputPipe] [/debug] [/stop] [/help] [/?]
```

[図 1](#) status コマンドのためのより詳しい出力を示します:

図 1 — OPCTest ステータス 出力

```
C:\>opctest /cust/node pgl a
OPCTEST Release 2.5 (service pack 2), Build 03105
opctest: status
OPC Version: Release 2.5 (service pack 2), Build 03116
Release Date: 09/28/98 07:01:57

Current Time: 03/17 17:47:07
Local Time: 03/17 12:47:07 (5.0 hr)
OPC Up: 12/08 18:59:52 (98.9 day)

OPC Sync: 03/13 22:18:33 (3.8 day) (A->B)

Process      LastStateChange      LastHeartBeat
A opc        H--                   03/17 17:46:52 (16 sec)
A pgag       OK M- 12/08 18:59:56 (98.9 day) --
A piml       OK M- 03/12 19:35:58 (4.9 day) --
A ctisvr     ---                  --
B pgag       OK M- 12/08 18:59:53 (98.9 day) --
B piml       OK M- 03/13 22:18:42 (3.8 day) --
B ctisvr     ---                  --
B opc        H--                   03/17 17:46:52 (16 sec)

PGAgent      LastStateChangeTime   ConnectATime           Status                 ConnectBTime           Status
SideA PIA 03/13 22:18:32 (3.8 day) 03/13 22:18:32 (3.8 day) CONNECTED 03/13 22:18:32 (3.8 day) CONNECTED
SideB P-- 03/13 22:18:32 (3.8 day) 03/13 22:18:32 (3.8 day) CONNECTED 03/13 22:18:32 (3.8 day) CONNECTED

PeripheralID Side      State                LastStateChange        LastHeardFrom
1          A      PIM_ACTIVE PR 03/13 22:18:32 (3.8 day) 03/17 17:47:07 (1 sec)

CTIServerNo Side      State                LastStateChange        LastHeardFrom
1          ?      CTI_NULL            12/08 19:00:02 (98.9 day) --
```

Indicates which side of the PG is supplying the Call Router with status of the PG.

Processes on the PGs & their states.

*PGAG – manages session layer communications between the PG & the Central Controller
SEE NOTE BELOW*

Peripheral Interface Manager/PIM

CTI Server

注: ICM バージョン 4.1 では、Peripheral Gateway Agent (PGAgent) セクション現在のアクティブな側面のためのディスプレイ。この例では、PG5B の PGAgent はアクティブな側面です。PG5A はアイドル状態です:

```

PGAgent      LastStateChangeTime      ConnectATime      Status      ConnectBTime
Status
SideA  P-- 02/01 11:50:23 (3.2 hr)      IDLE AGENT
IDLE AGENT
SideB  PIA 02/01 11:48:54 (3.2 hr)      02/01 11:48:54 (3.2 hr) CONNECTED 02/01 11:48:54 (3.2
hr) CONNECTED

```

opctest コマンド

型ヘルプまたはか。 opctest コマンド プロンプトで利用可能なコマンドのリストを表示するために。

いくつかの opctest コマンドは、List_Agents および List_Trunk_Group のような、1つ以上の追加コマンドラインスイッチを必要とします。 Type コマンド名前/か。適切な構文を得るため。次に例を示します。

```

opctest: la
list_agents: Error for PeripheralID: Missing argument.

opctest: la /?
Usage: list_agents PeripheralID [/agent AgentID] [/state AgentState]
        [/group SkillGroupID] [/agpri SkillGroupPriority] [/logout]
        [/help] [/?]

opctest: la 5004
SkillGroup=    0 Pri= 0 ----- LoggedOn=23 Avail=0 NotReady=4 Ready=19 TalkingIn=16
                TalkingOut=0 TalkingOther=3 WorkRdy=0 WorkNRdy=0 Busy=0
Reserved=0 Hold=0
SkillGroup=    1 Pri= 0 ----- LoggedOn=9 Avail=0 NotReady=1 Ready=8 TalkingIn=7
                TalkingOut=0 TalkingOther=1 WorkRdy=0 WorkNRdy=0 Busy=0
Reserved=0 Hold=0
SkillGroup=    2 Pri= 0 ----- LoggedOn=25 Avail=0 NotReady=4 Ready=21 TalkingIn=20

opctest: ltg
list_trunk_groups: Error for PeripheralID: Missing argument.

opctest: ltg 5004
Perph#   SkTargetID NTGSSkTargetID NumTrunks  LastHHU      Tracing  Ext
ConfigParam
    0     5057       5005             -1  02/01 14:30:00    0
    1     5058       5005             -1  02/01 14:30:00    0
    2     5059       5005             -1  02/01 14:30:00    0
    3     5060       5005             -1  02/01 14:30:00    0
    4     5061       5005             -1  02/01 14:30:00    0
    5     5062       5005             -1  02/01 14:30:00    0
    6     5063       5005             -1  02/01 14:30:00    0
    7     5064       5005             -1  02/01 14:30:00    0
    8     5065       5005             -1  02/01 14:30:00    0
    9     5066       5005             -1  02/01 14:30:00    0
   10     5067       5005             -1  02/01 14:30:00    0
   12     5010       5005             -1  02/01 14:30:00    0
   13     5011       5005             -1  02/01 14:30:00    0
   14     5068       5005             -1  02/01 14:30:00    0

```

デバッグ情報

opctest の内の特定のデバッグを有効にするために debug コマンドを発行して下さい。 debug コマンドは [トレースの上の回転](#)によってデバッグ制御を有効にします。デバッグ制御の enablement は OPC プロセスのためにレジストリかターンアップを EMSTraceMask 調節する場合はるかに有効よりです。デバッグ制御の enablement は追加トレースを必要とする OPC の方のト

レースの上で回ります。 OPC Event Management System (EMS) ログファイルのトレース結果ディスプレイ。 EMS ログの出力を表示するために **dumplog** を使用して下さい。 詳細については [Dumplog ユーティリティを使用する方法](#)を参照して下さい。

次に例を示します。

```
opctest: debug /? Usage: debug_control [/realtime] [/agent] [/halfhour] [/rcmeter] [/routing]
[/skillgroup] [/closedcalls] [/cstaecr] [/cstacer] [/pimmsg] [/ctimsg] [/rcmsg] [/dmpmsg]
[/icmsg] [/opcmsg] [/mdsmg] [/pdmsg] [/inrcmsg] [/passthru] [/tpmsg] [/physctrlr] [/periph]
[/all] [/help] [/?]
```

変換ルートに関する問題を解決する必要がある場合デバッグ /routing コマンドを発行して下さい。

解決することを終わるときすべての OPC トレーシングを消すために /noall スイッチを使用して下さい。 トレースを出て来られて残す場合、パフォーマンス問題は生じる場合があります。

[終了およびやめられた opctest](#)

OPCTest ユーティリティを終了するために quit コマンドを発行して下さい。

注意： exit_opc コマンドを発行するとき注意して下さい。 このコマンドは二重にされた場合 PG の両側で終了するように OPC プロセスに指示したものです。 Node Manager は再起動するためにプロセスを強制します呼び出しルータのための設定のリロードを強制する。 すべての内部 周辺装置およびエージェントの状態はフラッシュされます。 それから、 OPC および Peripheral Interface Manager (PIM) は PG および設定を学び直します。

[関連情報](#)

- [Dumplog ユーティリティの使用法](#)
- [トレース機能を強化する場合](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)